

(書式 2)

学会参加報告書

提出日 2017年 12月 日

学籍番号	16N0009	学系	トレーニング科学系
氏名	山崎由紀奈		
学会等名 (正式名称)	The 8 th Asia Conference on kinesiology		
開催日程	2017年 11月 30日 ~2017年 12月 3日		
開催場所 (国・都市名)	韓国・テグ		
発表演題名	Differences in muscle architectures of Biceps femoris long head at different regions		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> 韓国第三の都市であるテグのケミョン大学で開催された本学会は8回目であり、まだ発展途上の感があった。インドネシアやフィリピン、イランからの演題もあったが、演題数は韓国と日本からの発表が多かった。YIA の口頭発表では、研究分野が多岐にわたり、座長や聴衆からの質問が少ないように感じられた。</p> <p><自身の研究と関連した発表とその内容> バイオメカニクス領域の口頭発表セッションでは、自身の研究対象とよく似た内容が香港の研究者によって発表された。自身の得ていた結果と同じであったことは興味深かったが、それよりも発表のストーリーが面白く、プレゼンテーション能力が高いと感じた。 ポスター発表では、自身の研究と同じ手法を用いて異なる対象筋の事例が紹介されており、取得画像のレベルが高く、刺激を受けた。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> 本研究発表に興味を持ってくださったのは日本人ばかりであり、海外の研究者から質問がもらえなかったのは残念であった。 本研究で使用した超音波装置・方法論に関する質問が一番多く、院生は簡便な超音波装置を用いた研究に興味があるように感じられた。本研究の考察に関しては、納得いただけただけの方もいらっしまったが、否定的なご意見も頂戴し、今後の検討材料を得ることができた。</p>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。